

臨界凝集濃度(りんかいぎょうしゅうのうど) | Critical aggregation concentration

疎水性コロイドに濃い電解質溶液を加えていくとコロイド溶液中の電解質濃度が高くなりある濃度になると凝集をおこして沈殿する。コロイドを凝集させるのに必要な最低濃度を臨界凝集濃度という。疎水性コロイドの臨界凝集濃度は、対イオンの価数の2乗～6乗に反比例することが実験的にも知られている。疎水性コロイドの安定性の理論(DLVO理論)によれば、コロイド粒子の表面電位が大きいとき、6乗に反比例するが、表面電位が小さいときには価数の2乗に反比例することが導かれる。

(尾崎)